

# 令和 5年度予算見積調書

課室名: 森づくり課  
 担当名: 治山・森林管理道担当  
 内線: 4316 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P100	治山施設点検調査事業			一般会計	農林水産業費	林業費	治山費	治山事業費		
事業期間	平成30年度～	根拠法令	林野庁インフラ長寿命化計画 治山施設に係る個別施設計画策定のためのガイドライン			針路	01 災害・危機に強い埼玉の構築	SDGsゴール	11, 15	
						分野施策	0103 治水・治山対策の推進	SDGsターゲット	11-b, 15-1, 15-2	
1 事業概要	<p>治山施設は、山地災害から県民の生命や財産・公共施設等を保全する重要なインフラである。                  県が、長年に渡り設置し管理している治山施設について、長寿命化対策の推進を図るため、治山施設長寿命化計画に基づき点検・調査・診断を行い、効率的で経済的な施設の維持管理・更新につなげる。</p> <p>治山施設の点検・調査・診断 25,238千円</p>			5 事業説明						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				<p>(1) 事業内容                  治山施設の点検・調査・診断 実施箇所数 312箇所 25,238千円</p> <p>(2) 事業計画                  平成30年度～令和5年度 治山施設長寿命化計画2,850箇所のうち設置から10年が経過した2,716か所の初回点検・追加調査・健全度の診断                  令和6年度以降 定期点検を実施</p> <p>(3) 事業効果                  修繕や更新の必要な施設を把握することにより、予防保全型の維持管理が行える。                  また、点検結果を踏まえ、補修対策の優先度を判定することにより計画的なメンテナンスサイクルが構築でき、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減、予算支出の平準化が図れる。                  さらに、治山施設の効果が長期に渡って適切に発揮されることにより、山地災害の予防・被害の軽減に資する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                  職員により治山台帳及び施設位置図の修正更新を行う。                  また、個別施設計画のとりまとめ及び修繕計画の策定を行う。</p> <p>(5) その他                  なし</p>						
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×4人=38,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
決定額	25,238								25,238	△7,116
前年額	32,354								32,354	

## 事業内訳書

事業名	治山施設点検調査事業		
単位事業名	治山施設点検調査事業	予算額	25,238千円

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	12	0	現地調査 200円×2人×3事務所 会議・打合せ 1,600円×2人×3事務所
需用費	53	0	消耗品費 ガソリン代
役務費	10	0	郵送代
委託料	25,163	△7,116	312箇所 25,163千円
合計	25,238	△7,116	